

## 【鳥取県】校務DX計画

令和5年12月27日付5初修教第15号「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリストの自己点検結果の報告について(通知)」(以下「自己点検結果」という。)における自治体別達成状況では、鳥取県は全国平均と比較して低い数値となっている。(鳥取県特別支援学校8校の平均:332.3点、全国平均363.1点)

以下の3点に関係する調査項目については、特に達成率が低い傾向にあるため、今後重点的に取り組む必要がある。

### 1 FAX・押印等の制度・慣行の見直しについて

自己点検の結果によると、対象8校全ての学校でFAXを使用しており、また、8校中7校で保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があるという状況である。

県教育委員会としては、令和3年3月26日付で「鳥取県教育委員会に提出する書類の押印の省略等に関する規則」を制定しており、今後も押印の省略及び記名をもって署名に代えることで事務の簡素化を進めていく。

FAXでのやり取りの見直しについては、今後県教育委員会から所管学校に対して働きかけを行う。

### 2 クラウド環境の活用推進について

自己点検結果によると、児童生徒への各種連絡や教材共有にあたってのクラウド活用、教職員間での情報共有にあたってのクラウド活用は、多くの学校で進んでいる一方で、保護者への各種連絡・アンケートにあたってはクラウド活用があまり進んでいない。各学校で教育DXを推進する「情報化推進リーダー」の意見交換会や研修会で、各種クラウドサービスを活用した校務の効率化等の情報交換・先進事例の共有を行い、クラウド環境の一層活用を進める。

### 3 統合型校務支援システムの導入について

県立特別支援学校では、未だ校務支援システムが導入されていない。システム導入による校務の効率化に向けて、令和9年度稼働を目指し、各種検討(システムに搭載する機能、帳票統一、パブリッククラウド上でのシステム運用の可否)を進める。